

平成27年度
教育委員会事務の点検及び評価報告書



平成28年11月
野辺地町教育委員会

報告書発刊にあたって

この報告書は、野辺地町教育委員会が、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、平成27年度に実施した教育委員会の諸事業について、「第2期野辺地町教育振興基本計画」と照らし合わせ「教育委員会事務の点検及び評価」をした結果をまとめたものです。

点検及び評価した事務事業は、学校教育課が25、社会教育・スポーツ課が33、中央公民館が6、図書館が8、歴史民俗資料館が8、合計80の事務事業について実施しました。

まず最初に、第一次評価として、担当者自らが事業の「成果や課題」を捉えるとともに、「担当者自己評価」を4段階法で実施しました。

次に、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図り、客観性・公平性を確保するために、外部有識者5名を委嘱し、「野辺地町教育委員会事務評価委員」を組織して検討を重ね同じく4段階法により総合評価を実施しました。

長期にわたり御審議いただいた教育委員会事務評価委員の方々の御足労に感謝すると共に、御指導いただいた意見については真摯に受け止め、各事務事業担当課が今後の改善に向けての取り組みの大きな課題として、各事業がより一層効果を高めるための取り組みや、より効率的な実施方法の見直し等について、活用していきたいと思っております。

また、本報告書は教育関係者のみならず広く町民に公表するとともに、野辺地町議会に提出して御指導を仰いでまいります。

結びに、報告書をまとめるにあたって御尽力いただいた関係各位に改めて厚く御礼申し上げ、更なる野辺地町の教育振興に努力することをお誓い申し上げます。

平成28年11月

野辺地町教育委員会 教育長 浅利能之

報告書目次

1. 教育委員会基本方針	P 1
2. 教育委員会委員構成	P 1
3. 平成27年度野辺地町教育委員会審議状況	P 2
4. 教育委員会事務の点検及び評価について	P 5
(1) 趣旨	P 5
(2) 点検及び評価の実施	P 5
(3) 点検・評価の構成	P 5
5. 平成27年度教育委員会施策別主要事務事業の総合評価	P 7
6. 事務評価委員の施策分野の総括・総評	P 10
(1) 教育委員の活動	P 10
(2) 学校教育	P 10
(3) 社会教育・スポーツ行政	P 11
(4) 歴史・文化・芸術	P 12
(5) 総評	P 12

1. 教育委員会基本方針

野辺地町教育委員会は、一人一人の子どもが、郷土をより一層愛する心を育み、次世代の町を担い、国内外で活躍できる「人財」の育成を目標とする。学校教育においては、確かな学力・豊かな心・健やかな体の3つの調和がとれた「野辺地っ子」を町が目指す子どもの姿として掲げる。また、社会教育・スポーツにおいては「ふれあい教育の日」を今後も継続することで生涯学習の充実と心身ともに健康な人づくり、地域づくりを目指していく。

また、町民憲章に謳われている「真実と友愛のあふれる明るく住みよい町」をつくるため、「烏帽子岳のような誇り高い文化と教育の町」の実現へ向け努めていく。

1. かしこい	…	世界へ漕ぎ出す、知恵の波が満ちる十符ヶ浦のような 「かしこい野辺地っ子」
2. やさしい	…	季節の彩りを楽しませ、心を和ませる愛宕山のような 「やさしい野辺地っ子」
3. たくましい	…	風雪に負けることなく、どっしりとした烏帽子岳のような 「たくましい野辺地っ子」
4. しなやかな	…	時代の流れを変えつつ、涸れることのない野辺地川のような 「しなやかな野辺地っ子」

2. 教育委員会教育委員構成

(平成28年4月1日)

区分	氏名	委員任期
委員長	横濱 秀一	平成27年12月20日～平成31年12月19日
委員 (職務代理者)	野坂 幸子	平成25年12月20日～平成29年12月19日
委員	野坂 常一	平成24年10月1日～平成28年9月30日
委員	中村 公允	平成26年10月1日～平成30年9月30日
委員 (教育長)	浅利 能之	平成25年10月1日～平成29年9月30日

3.平成27年度野辺地町教育委員会審議状況

会議	開催日時	開催場所	付 議 事 項	
4 月 定 例 会	4/30 (木) 9:30	中央 公民館	報告第8号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			報告第9号	県費負担非常勤講師採用の辞令について
			報告第10号	小中学校事務の共同実施に係る事務職員の兼務辞令に係る内申について
			報告第11号	学校評議員の委嘱について
			報告第12号	野辺地町学校給食共同調理場監理運営委員会委員の委嘱について
			議案第14号	県費負担教職員の職務の復帰について
			議案第15号	野辺地町情報教育研究委員会設置要綱(案)について
			議案第16号	特別非常勤講師の委嘱について
			議案第17号	特別非常勤講師の委嘱について
			議案第18号	野辺地町社会教育委員の委嘱について
			議案第19号	野辺地町中央公民館運営審議会委員の委嘱について
			議案第20号	野辺地町馬門公民館運営審議会委員の委嘱について
			議案第21号	野辺地町図書館協議会委員の委嘱について
			議案第22号	野辺地町文化財保護審議会委員の委嘱について
			議案第23号	野辺地町勤労青少年ホーム運営委員の委嘱について
			議案第24号	野辺地町スポーツ推進委員の委嘱について
		その他	全国町村教育長会定期総会・研究大会について	
5 月 定 例 会	5/27 (水) 9:30	中央 公民館	報告第13号	小中学校事務の共同実施に係る事務職員の兼務辞令に係る内申について
			報告第14号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			報告第15号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			報告第16号	県費負担教職員の復職調整に係る内申について
			報告第17号	野辺地町社会教育委員の委嘱について
			報告第18号	野辺地町馬門公民館運営審議会委員の委嘱について
			議案第25号	野辺地町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する訓令案
			行事報告・予定	学校教育課・社会教育スポーツ課
6 月 定 例 会	6/22 (月) 9:30	中央 公民館	報告第19号	育児休業の承認について
			報告第20号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			議案第26号	野辺地町指定有形文化財の指定について
			行事報告・予定	学校教育課・社会教育スポーツ課

会議	開催日時	開催場所	付 議 事 項	
7 月 定 例 会	7/16 (水) 9:30	中央 公民館	行事報告・予定	学校教育課・社会教育スポーツ課
			その他	①学力テスト学校名の公表について ②土曜授業について
8 月 定 例 会	8/19 (水) 9:30	中央 公民館	報告第21号	育児休業の承認について
			報告第22号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			行事報告・予定	学校教育課・社会教育スポーツ課
9 月 定 例 会	9/17 (木) 9:30	中央 公民館	報告第23号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			報告第24号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			報告第25号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			議案第27号	県費負担非常勤講師の採用について
			議案第28号	野辺地町教育委員会委員長職務代理の指定について
			行事報告・予定	学校教育課・社会教育スポーツ課
10 月 定 例 会	10/23 (金) 9:30	中央 公民館	行事報告・予定	学校教育課・社会教育スポーツ課
			その他	①第2回総合教育会議の概要について(案) ②平成28年度野辺地町の教育の充実を目指して「要望書」 ③まちひとしごとアンケート【中学生】集計結果
11 月 定 例 会	11/24 (火) 9:30	中央 公民館	行事報告・予定	学校教育課・社会教育スポーツ課
			その他	平成26年度事務評価の結果について
12 月 定 例 会	12/21 (月) 9:30	中央 公民館	選挙第1号	野辺地町教育委員会委員長の選挙について
			議案第29号	野辺地町立小学校及び中学校の通学区域等に関する規則について
			行事報告・予定	学校教育課・社会教育スポーツ課
1 月 定 例 会	1/20 (火) 9:30	中央 公民館	行事報告・予定	学校教育課・社会教育スポーツ課
			その他	平成27年度文化・スポーツ賞「功労賞」の候補者について
2 月 定 例 会	2/17 (水) 15:30	中央 公民館	報告第26号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			議案第30号	平成28年度野辺地町人財育成助成金交付要綱(案)について
			行事報告・予定	学校教育課・社会教育スポーツ課
			その他	平成27年度卒業式及び平成28年度入学式の出席調整について

会議	開催日時	開催場所	付 議 事 項	
3 月 定 例 会	3/25 (金) 14:00	中央 公民館	報告第2号	県費負担教職員の復職調整について
			報告第3号	県費負担教職員の復職調整について
			報告第4号	県費負担教職員の昇給昇格に係る内申について
			報告第5号	県費負担教職員の異動に係る内申について
			報告第6号	小中学校事務の共同実施に係る事務職員の兼務発令に係る内申について
			議案第1号	野辺地町教育委員会所管に属する学校職員の任用について
			議案第2号	行政不服審査法の施行に伴う関係教育委員会規則の整理に関する規則の一部改正について
			議案第3号	野辺地町教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正する規則案について
			議案第4号	野辺地町勤労青少年ホームの管理運営に関する規則案について
			議案第5号	野辺地町教育委員会職員の人事異動について
			議案第6号	野辺地町教育相談員の委嘱について
			行事報告・予定	学校教育課・社会教育スポーツ課
			その他	平成27年度野辺地中学校進路状況について

4. 教育委員会事務の点検及び評価について

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされている。

野辺地町教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び町民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめた。

(参考)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務、同条第四項の規定により事務職員等に委任された事務を含む）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検及び評価の実施

点検及び評価の実施にあたっては、第2期野辺地町教育振興基本計画及び平成27年度野辺地の教育において掲げている平成27年度における教育委員会の主な活動や事務事業を対象として実施する。

- ・ 施策分野・・・4分野（教育委員会、学校教育、社会教育・スポーツ、歴史・文化・芸術）
- ・ 基本施策・・・29項目
- ・ 主要事務事業・・・80事業（各担当課等が扱う主要な事業を選定し点検評価）

(3) 点検・評価の構成

ア 点検評価の手順

施策別重点項目一覧に基づく主要事務事業について、各担当者が一次評価を実施し、教育長に提出する。

教育長は、事務評価委員に点検及び評価の実施方法及び内容等について意見を求めるとともに、点検・評価の結果に関する報告書を作成し、教育委員会定例会において説明の機会を設け、教育委員からの理解を求める。

イ 点検評価基準

平成27年度野辺地町教育委員会事務事業点検・評価

A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

ウ 点検・評価の経緯

(ア) 「野辺地町教育委員会事務評価委員」

委嘱期間 平成28年6月23日～平成30年3月31日

野辺地町教育委員会事務評価委員

役職名	氏名	職業等
委員長	千葉信親	小学校長
委員	前田智子	社会教育委員
委員	赤垣義憲	町連合PTA会長
委員	高田誓昌	町観光協会事務局長
委員	浅野裕子	スポーツ推進員

(イ) 事務評価委員会の開催等

第1回目 平成28年6月23日(木) 午後3:30 中央公民館

- ・委嘱状交付
- ・今後のスケジュールについて

第2回目 平成28年7月26日(火) 午後3:30 中央公民館

- ・平成27年度事業説明(学校教育課、学校給食調理場)

第3回目 平成28年8月3日(水) 午後3:30 中央公民館

- ・平成27年度事業説明(社会教育・スポーツ課)

第4回目 平成28年8月9日(火) 午後3:30 中央公民館

- ・平成27年度事業説明(中央公民館、図書館、歴史民俗資料館)

第5回目 平成28年8月17日(水) 午後3:30 中央公民館

- ・各委員の評価をもとに総合評価を調整し、委員の意見集約。

第6回目 平成28年10月21日(金) 午後3:30 中央公民館

- ・点検・評価の結果に関する報告書のまとめ

第7回 平成28年度教育委員会定例会へ報告(11月定例会)

平成28年12月町議会へ報告書提出及び町ホームページに掲載公表

(ウ) 教育委員会定例会開催

平成28年11月開催の教育委員会定例会において、事務の点検及び評価・報告書について説明し、教育委員からの理解を求める。

5. 平成27年度教育委員会施策別主要事務事業の総合評価

施策分野			
	基本施策	主要事務事業	総合評価
1. 教育委員会			
	(1) 教育委員の活動	1 教育委員の活動	B
2. 学校教育			
	(1) 授業の充実	2 教育振興会補助事業	B
		3 学力向上指導員の配置	B
		4 社会科副読本の発行	B
	(2) 道徳教育の充実	5 スクールカウンセラーの配置	A
	(3) 特別活動の充実	6 小・中作品展の開催及び音楽交歓会の開催	A
	(4) 体育・健康教育の充実	7 バイキング給食の日	A
		8 学童スキー大会の開催	B
		9 大会派遣費補助事業費	B
	(5) 生徒指導の充実	10 生徒指導委員会の充実	A
		11 小1プロブレム、中1ギャップの解消	B
	(6) キャリア教育の推進	12 職場体験	B
	(7) 特別支援活動の充実	13 スクールサポーター配置の充実	A
	(8) エネルギー・環境教育の推進	14 エネルギー教育の整備	B
	(9) 国際化、情報化に対応する教育の推進	15 英語で元気な町づくり事業	B
		16 まちづくりALT派遣事業	B
		17 児童生徒及び教師へタブレット端末導入に向けた検討	B
	(10) 研修の充実	18 教職員ふるさと研修	B
	(11) 教育環境の充実	19 小学校3校の耐震補強工事の実施	B
		20 学校施設営繕・設備保全	B
		21 教材備品の整備	B
	(12) その他	22 給食費の未納対策強化	A
		23 就学援助費事業	B
	(13) 学校保健の取組み	24 学校支援センター（学校支援推進事業）	B
	(14) 学校支援活動	25 児童・生徒各種健診及び教職員特定健診	B

施策分野			
	基本施策	主要事務事業	総合評価
3. 社会教育・スポーツ			
(1) 一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	1	のへじ元気講座	B
	2	ハッチョウトンボ観察会	B
	3	青少年ホーム教養講座	D
	4	文化賞授与式	A
	5	馬門公民館教養講座	B
	6	みんな教室（中央公民館）	A
	7	野辺地町文化祭（中央公民館）	B
	8	成人式（中央公民館）	B
	9	家読を通じたふるさと創造事業（図書館） （地域住民生活等緊急支援のための交付金）	B
	10	各種広報活動の充実（図書館）	B
(2) 次世代を担う青少年の育成	11	子ども会事業	B
	12	ふるさと探偵団	B
	13	ふれあい通学合宿	A
	14	ふれあい教育フェスティバル	B
	15	在学青年ボランティア	B
	16	文化少年団活動（中央公民館）	B
	17	子ども司書養成講座（図書館）	B
	18	子どもの読書活動の充実（図書館）	B
(3) 地域を支える人材の育成	19	生涯学習大学	A
	20	男女共同参画職員研修	C
	21	図書館サークル・おはなしボランティアの育成 （図書館）	A
(4) 学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上	22	家庭教育推進事業	B
	23	いのちのお話出前講座	A
	24	ピコロ・ぴよぴよクラブ（中央公民館）	B
	25	親子ふれあい読書の奨励（図書館）	B
	26	学校等と連携協力した読書活動の推進（図書館）	B
(5) 社会教育推進のための基盤整備	27	各種会議の開催 社会教育委員会、馬門公民館運営審議会、 青少年育成町民会議、勤労青少年ホーム運営会議、 青少年健全育成推進協議会	—
	28	社会教育団体の支援 子ども会育成連絡協議会、ボーイスカウト育成会、 連合PTA、地域婦人団体連合会、 文化振興協議会の活動支援	A
	29	中央公民館運営審議会（中央公民館）	—
	30	図書館協議会（図書館）	—

施策分野			
	基本施策	主要事務事業	総合評価
3. 社会教育・スポーツ			
(6) 生涯スポーツの普及・振興	31	スポーツ推進委員会議の開催及び町各種のスポーツ事業への活用	－
	32	町スポーツ賞、教育委員会スポーツ賞の表彰	A
	33	健康ウォーターマラソンスタンブラリーの開催	A
	34	青森県民スポーツレクリエーション祭参加	B
	35	学校体育施設の開放促進	B
	36	総合型地域スポーツクラブの検討	B
	37	水泳教室開催	B
(7) 青少年スポーツの振興	38	スポーツ少年団への支援と育成	B
	39	町営球場開設記念兼ライオンズクラブ旗争奪中学校野球大会の支援	B
	40	青森県小学生スキー大会の開催	A
(8) 競技スポーツの推進	41	青森県民駅伝競走大会選手強化支援	A
	42	町体育協会活動支援	C
(9) スポーツ情報の充実	43	スポーツ史発行に向けて記録等の情報収集及び保存	B
	44	スポーツカレンダーの発行	B
(10) 社会体育施設・設備の整備・運営	45	体育施設の総合的な修理修繕と運営	B
	46	体育施設利用団体会議開催による有効活用意見の聴取	B
(11) キャリア教育の推進	47	チャレンジショップ	A
4. 歴史・文化・芸術			
(1) 文化財の保護・保存 (歴史民俗資料館)	1	文化財保護審議会の開催	－
	2	県史跡「藩境塚」「野辺地戦争死者の墓所」ほか管理	B
	3	旧野村家住宅離れ（行在所）の公開と維持管理	B
	4	文化財の指定推進	C
	5	重要文化財「赤漆塗木鉢」の修理	A
(2) 郷土の歴史・文化・芸術の保存及び継承 (歴史民俗資料館)	6	民俗芸能の保存と継承	D
(3) 資料館施設の整備 充実 (歴史民俗資料館)	7	特別展・各種講習会等の普及事業の開催	C
	8	資料のデータベース作成	B

6. 事務評価委員の施策分野の総括・総評

(1) 教育委員の活動

教育委員の方たちが、どのような考え方をもってどのような活動をしているか分かりにくいというのが率直な意見である。

様々な分野で見識ある方が委員として任命されていると思うが、教育委員においては、学校教育・社会教育・歴史文化それぞれ現場からのニーズや課題の解決に向けて行政や地域の橋渡し役となってほしい。そのためには、今後もより一層現場の声に耳を傾けてほしい。そして、教育委員の活動を広く住民へ向けて公表してほしい。

(2) 学校教育

学校教育の施策分野では、14ある基本施策のうち25の主要事務事業を取り上げて評価を行ったところ、下記の事業について、検討してほしい。

①学力向上指導員の配置

児童生徒向けの学習指導について、現在1名の配置であるが複数の指導員を配置することで、指導方法に偏りが生じないようにしてほしい。

②スクールカウンセラーの配置

出来る事なら常勤が望ましい。

③バイキング給食の日

食育指導を積極的に取り組むための予算を要求してほしい。

④生徒指導委員会の充実

子どもたちが積極的に祇園祭りに参加出来るよう、夏季休業中の中間出校日と重ならないようにしてほしい。

⑤小1プロブレム、中1ギャップの解消

教育委員会の更なるバックアップをお願いしたい。

⑥英語で元気な町づくり事業、まちづくりALT派遣事業

外国語指導助手（ALT）について、日本語が堪能な外国人が望ましいが、それが叶わなければ、補助できる人を配置してほしい。

⑦教職員ふるさと研修

もっと興味が湧くような内容にしてほしい。例えば、研修の前段階で年度始めに開催される教育振興会総会の中にも野辺地町の紹介の時間を十分とるなどの工夫をしてほしい。

⑧小学校3校の耐震補強工事の実施

小学校の耐震工事は工程表どおり進まなかった。工事中の騒音が授業の妨げとなった。これからは学校に対して十分配慮するよう施工業者と綿密に打ち合わせをしてほしい。業者選定においては、地元の業者を育てていくような考えをもつてほしい。

⑨学校施設営繕・設備保全

学校用務員の職区分が用務員という名称について、見直してほしい。

(3) 社会教育・スポーツ

社会教育・スポーツの施策分野では、11ある基本施策のうち47の主要事務事業を取り上げて評価を行ったところ、下記の事業について検討してほしい。

①成人式

集合写真の自己負担について、町の予算として対応してほしい。

②ふるさと探偵団

もっと、興味をそそられるようなテーマを考えてほしい。

③子ども司書養成講座

子ども司書の認定を受けた児童生徒の活躍の場所を学校などから探してほしい。

④図書館の運営

昨年、試行的に実施した開館時間の延長は、周知が足りなかったと思う。

⑤地域総合型スポーツクラブの検討

様々なスポーツを選択できる場として、進めてほしい。

⑥(仮称)野辺地町立小学校吹奏楽団の設立

現在、部活動として若葉小学校にマーチングバンドがあるが、文化少年団の講座とは別にスポーツ少年団のように学校施設を借りて町全体から団員募集を図ってはどうかと思う。

⑦スポーツ史発行に向けて記録等の情報収集及び保存

保存方法や活用のされ方も検討しながら作成にあたってほしい。

⑧体育施設の総合的な修理修繕と運営

体育館など新築を考えているならば、災害時の避難場所など総合的に使えるような施設にしてほしい。

(4) 歴史・文化・芸術

歴史・文化・芸術の施策分野では、8ある基本施策の主要事務事業を取り上げて評価を行ったところ、下記について検討してほしい。

①郷土の歴史・文化・芸術の保存及び継承

- ・昔の社交場「巖泉閣」をテーマにしたらどうかと思う。
- ・復元北前型弁才船「みちのく丸」も来ることだから「ふるさと検定」を実施するのも面白いと思う。
- ・祇園祭りは参加者不足、子どもたちの参加を促すよう学校側も検討してほしい
また、継承という点では歴代の山車の写真展を開催してはどうかと思う。

②旧野村家住宅離れ(行在所)の公開と維持管理

音声ガイドを付けるなど、見学者が建物の歴史を知ることが出来る工夫をしてほしい。

③文化財の指定推進

民俗芸能の指定がない。神楽や祇園祭りを無形文化財に出来ないものかと思う。また、保存と継承については、映像を残してほしい。

(5) 総 評

平成27年度の主要事務事業の評価を実施するにあたっては、その元になる「第2期野辺地町教育振興基本計画」が平成27年度から5ヵ年計画であることから、今回の評価結果は来年度以降の基準となるべく位置付けと考えている。

全体を見渡したとき、基本方針にある「4つの野辺地っ子」へ向け様々な事務事業を展開しており、概ね良好な事業の執行であると評価する。

ただ、今後の多岐に渡る住民ニーズという視点から見た場合、更なる創意工夫やより手厚い住民サービスを願う事業もあり、私たち委員からは上記のような要求に近い意見又は評価となった。

その他、来年度実現へ向け検討してほしい事業を挙げるならば、以下の3点について特に取り組んでほしい。

★第1点 学校施設営繕・設備保全

当然のことであるが、一日の大半を学校で過ごす子どもたちにとって安全安心な施設で授業を受けることが全てである。しかしながら、小学校施設は3校とも築40年以上経過しており、設備も老朽化が著しく決して快適な環境とは言えない。せめて、大規模小規模に関わらず修繕については迅速な対応を願いたい。

さらに、施行にあたっては地元業者育成を図るためにも優先としてほしい。

★第2点 男女共同参画研修会

町行政が男女共同参画について、どういう考えを持っているか、そして方向性が分からない。

今後、単に役場職員向けの研修会の開催だけに留まることなく、役場組織において女性職員の管理職登用の促進、ひいては住民の活性化として様々な場面で女性が活躍するための支援を発展的に取り組むためには教育委員会の所管として続けるには難しさを感じるので検討してほしい。

★第3点 歴史・文化・芸術

貴重な文化財を所持している施設だが、運営において特に配置されている職員について、長年一人のベテラン職員に頼りっきりの状態で未だに引き継ぐ後任の職員が育っていない。もっと、職員配置の人事面で必要性を訴えてほしい。

また、事業等を実施するにあたって人手不足が生じる場合には、教育委員会内で職員の協力体制を充実させてほしい。

最後に、事務事業の説明を通じ感じたこと、教育委員会職員においては、時には休日返上するなど日々全体の奉仕者であることを忘れず住民のために鋭意努力している姿がうかがえた。これも職員一人一人が心身ともに健全であってこそそのため、これを踏まえ、今後も教育行政の振興に努めてほしい。